

はっとこどもえん えんだより 2022ねん

3期：7月1日～8月31日



絵：4歳児（ソウの絵）

社会福祉法人 種の会

幼保連携型 認定こども園 はっとこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail：hat@tanenokai.jp URL：<http://www.tanenokai.jp/>

種の会 法人本部Mail：tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp



★ 7月5日（火）がプール開きです。ご用意をお願いします。

★ 災害時・緊急時のお願い

台風や地震が発生した場合、園の電話回線が大変混み合います。園児の安否については、園から『チャイルドケアウェブ』でお知らせしますので、個々で園への問い合わせはなるべく控えていただきますようお願いします。

また災害時や緊急時は、出来るだけ自宅待機、早めのお迎えのご協力をお願いします。





～子どもの主体性（選択）を支える～

園長 ^{かたやま} 片山

遅めに訪れた梅雨も明け、暑い日々が始まりました。昨年度から持ち越しとなっていた「第三者評価」の受審も6月24日、27日の2日間で実施されました。園外の専門的な評価者から地域に根差した運営や保育となっているのかどうか、観察頂きました。近いうちに結果を公表させて頂きたいと思います。この機会に保護者の皆様から寄せて頂いた意見を改めて確認しました。多種多様な視点があることを踏まえつつではありますが、子どもの健やかな成長には保護者の方々との連携を深めることが大事であるという認識を持ち、今後も取り組んでいきたいと思っています。

そのような意味からも5月は、にじ・そら・かもめ組の親子遠足、6月は保育参加の機会を設けさせて頂きました。私達の大切にしたい保育や家庭とはまた違った一面において、子どもの力を感じて頂けたのではないかと考えておりますが、いかがでしたでしょうか。保育観や運営に関しても、意見交換等含めて認識が深まる機会となっていたならば幸いです。

一見、先生が言い聞かせていない、やったらダメなことを子どもにきちんと教えていない、好き放題言わせていて落ち着きがない、そんなふうに見えることもあったかもしれません。子どもが自分の想いや意見を言葉や身振りやヴィジュアル（絵や文字）で工夫して、伝え合うことができるようになってほしいという、保育者の願いからそのような関わりをしていることがあります。園生活において、あれイヤ、これイヤと主張するようになってくる子ども達に、「〇〇してください！」「▽▽したらダメです！」「◆◆になるから今は××しないで！」といったオトナ目線の指示や禁止は控えるように努め、まずは受け止め、共感の姿勢を大切にしています。集団の流れが考慮され生活リズムに制限が出るところもありますが、許される限り、子どものペースを尊重し、子ども同士のやりとりを見守り、先に教え込みすぎることのないような保育を考えております。

7月からはプールに入ります。子ども達にとっては楽しみな活動の1つですが、ここ数年、集団での水遊びを体験してこなかった子もいますので、プール活動ならではの安全については十分に考慮して参ります。

と同時に、ここでも子ども達がより面白く、やりがいを持てるようなプログラムを「乳幼児の担任という枠を超えた職員（＝プールマン）」中心に計画してきました。

工夫の1つとして、子どもの意欲別（習熟度別）のグループで入水するという事も予定しています。例えば、4歳児でもプールを習っていて、水に顔をつけることが得意な子もいれば、5歳児でも不得意な子がいます。積極的にダイナミックな遊びを望む子もいれば、そうでない子もいるというように、クラス単位のみで活動を支えるのではなく、子どもが自分の気持ちや考えを表示したうえで、どのグループで入水するかを選択することが大切であると考えています。この選択の過程では、先生との対話、友達とのやりとりなど、色々なことを子ども自身が働きかけた中で意思決定がなされます。もちろん1回決まったらずっと同じグループということではなく、変更は可能です。

今の自分の状況（精神&スキル）ならどこを選ぶか、大人でも大切な判断ですね。

子どもたちの成長

副園長 ^{ふじわら} 藤原

先月の幼児の保育参加には、たくさんご参加いただきありがとうございました（*乳児の保育参加は11月に予定しております）。多くの方が朝の園庭あそびからスタートし、子どもたちと活動をともしていただき、まるで1人の保育者のようにご参加いただきました。子どもによっては普段の様子と違う場合もありますが、まわりの子どもたちを見ていただくことで、日頃の様子をいくらか推し測れたかと思います。

保育参加のなかでは、子ども同士のトラブルに遭遇されたかもしれません。言い争う場面などを見て、いろいろな思いを抱かれた方もおられるかと思います。園生活のなかで自己主張し合い、時には言葉を荒げてしまうことがあっても、周りに見守られることによって、人が生まれながらにして持っているコミュニケーション能力を顕在化させ、頭の中だけでなく、心の中で“思いやり”は育まれていくのだと思います。お互いの思いと思いをぶつけ合うことを経験して“思いやり”の精神は鍛えられ、それは陰湿ないじめなどを嫌う価値観を育むだけでなく、いじめられている仲間を救う力に至る可能性を秘めているのではないのでしょうか。

子ども同士のやりとりを見ていると、自己主張が一方的なものになっていることや、言われるがまま黙ってやり過ごす場面もあります。そんな時にも、見守り方を意識していくことで何か変わってくるのかもしれませんが、何にでも介入すべきではないけれど、放置（気づかないのも同じ）するのも違う。このことを感じながらの子どもへの関わりはとても難しいものです。しかし、子どもは私たち大人が思う以上に、子どもたちのなかで様々な刺激を受けて葛藤や戸惑いを経験しながら、成長し、自己を形成していくと考えられています。

今回の保育参加期間中にご参加が難しかった方につきましても、ご都合がございましたらどうぞ職員までお知らせください。子どもたちと一緒に遊び、時には私たちと一緒に悩みながら、子どもたちとたくさん関わっていただきたいです。引き続き、お待ちしております。

Instagram
はつとこども園

～ここでは Enstagram（園スタグラム）として保育参加の様子をご紹介します～



♡ 👤 ▼ 📌
#造形 #何を作っているのかな
#温かな眼差し



♡ 👤 ▼ 📌
#お父さん先生お見事 #熱い視線
#どこまで高く積むのかな



♡ 👤 ▼ 📌
#楽器コーナー #後ろで何か叩いている？
#お父さんお母さんもリズムにのって♪



〇さい
おひさまぐみ

おかの
岡野
ふじむら
藤村
のうそう
能宗
たら
多々良

0歳児 3期 夏を味わう期（7月1日～8月31日）

- 【ねらい】 個々に合った生活リズムの中で夏ならではの感触遊びをする
- 【うた】 ♪七夕 ♪きらきらぼし ♪うみ ♪みずあそび など
- 【わらべうた】 ♪かにどん かにどん ♪おすわりやす ♪おふね など
- 【主な活動】 プール遊び 絵の具（赤） 感触遊び（氷・寒天など）
- 【食育】 すいか（7月） パイナップル（8月）（参加できれば）



☀️ 戸外あそび ☀️

入園して3ヶ月が経ち、一人ひとりの生活リズムも定まってき、2期ではミニ園庭で遊ぶ時間も取り入れていきました。少し前までは抱っこでの移動でしたが、今では扉を開けると子ども達がハイハイで外へ行こうとしていて遊びたい気持ちが伝わってきます。ミニ園庭では、砂や水、しゃぼん玉で遊びました。特に水遊びは大好きなようで、タライに水を入れると手を入れてバシャバシャと触っており、顔にかかっても泣かず、濡れても平気な様子で楽しんでいました。また、しゃぼん玉を初めて見た子もいたようで、飛んでいくしゃぼん玉を目で追いかけたり、指先で潰してみたり、驚きながらも“もう1回”と動きで伝える子もいました。

これから暑い季節になります。寒天や氷などの冷たい感触を味わったり、プール遊びも始まったりと、3期も楽しみたいと思います。



えほんだいすき！

子ども達は絵本が大好きでお集まりや遊びの時間に「絵本読むよ～」と声をかけ、絵本が見えると集まって来てくれるようになりました。『ばいばい』という絵本では「ばいばい」のフレーズに合わせて手を振る姿があります。絵本が終わっても別の絵本ではなく、“同じのを読んで”と指差しなどで一生懸命に伝えてくれます。これからも、子ども達が様々な絵本に親しめるよう絵本の時間を大切にしていきます。



1さい
おひさまぐみ

おかの
岡野
ふしむら
藤村
のうそ
能宗
たたら
多々良

1歳児 3期 (7月1日~8月31日)

夏を味わう期

- 【ねらい】 水遊びやプール遊びを通して水に親しみを持つ
夏の暑さを感じる
- 【うた】 ♪きらきら星 ♪七夕 ♪しゃぼん玉 ♪うみ
♪アイスクリーム ♪おもちゃのチャチャチャ
- 【わらべうた】 ♪かにどんかにどん ♪おすわりやす ♪どっちゃんかっちゃん
♪上がり目下がり目 ♪なこかいとぼかい ♪おふね
- 【主な活動】 水遊び・どろんこ遊び・プール遊び・感触遊び(寒天・氷)
絵の具(赤)
- 【食育】 スイカ(7月) パイナップル(8月)



お散歩

2期では、天気の良い日に週1回はお散歩に出かけることができました。園外の動植物や車を見たり、地域の人に挨拶したり子ども達も大好きな活動です。バギーに乗る子と歩く子といますが、回数を重ね、お友達と手をつないで歩く事も少しずつ上手になってきました。先日のお散歩のエピソードを紹介します。

AちゃんBちゃんCちゃんが手をつないで歩いていました。はじめはお喋りしながらうまく歩いていたのですが、途中でAちゃんBちゃんが転んでしまいました。空気が変わり、「もう手を繋がない」「歩きたくない」とイヤイヤモードになりかけてしまいました。「大丈夫かな・・・」とみんなが見守る中、その様子を見ていた、別の保育者と手を繋いでいたD君とE君がその場に近づき、「あいっ」「ん！」と手を伸ばし誘ってくれたのです。おかげでAちゃんBちゃんも気を取り直して再び歩き出すことができ、楽しいお散歩となりました。お友だちを思いやる優しい気持ちや、助け合う姿にとっても感動したエピソードでした。



プール遊びがはじまります

3期は11日からプール遊びが始まります。ミニ園庭にビニールプールやタライを用意し、15~20分ほど個々の体調や生活リズムに合わせて遊びます。手だけではなく、全身で水の心地よさを感じられるようにしたいと思います。水が苦手な子は無理強いせず、それぞれのペースで楽しんでいけるようにしていきます。夏ならではの遊びを満喫していきます。



2さい
なごさぐみ

かしはら やまもと まえだ
梶原・山本・前田

3期（7月1日～8月31日）



- 【テーマ】 夏ならではの遊びを楽しもう
いろいろな色に触れてみよう
- 【主な活動】 プール遊び 絵の具遊び 色水遊び
新聞遊び～新聞をちぎって遊ぶ～
- 【うた】 ♪たなばた ♪みずあそび ♪しゃぼんだま
♪うみ ♪アイスクリームのうた
- 【わらべうた】 2階にあがらせてや・せんぞうや まんぞう
にゅうめんそーめん・おやゆびねむれ
- 【集団遊び】 2人組を意識する活動（パフリング・フープ遊びなど）
- 【戸外活動】 園庭遊び・散歩（HAT内・近隣の公園）※気温によって考慮します
- 【栽培】 トマトを収穫しよう
- 【食育】 すいか（7月） とうもろこし（8月）※変更する可能性があります



傘を作ったよ！

グループごとに分かれて、ビニール傘にいろいろな種類のシールなどを貼り、オリジナルの傘を作りました。「雨の時は何がいるかな？」と、聞くと「かさ！」と元気よく答えていました。ビニール傘を見て、何も模様がないことに気付き「かわいくしたい！」と、シールを手につくと夢中で貼っていました。シールの模様を見て「これにする！」と言って選ぶ子や、傘の先端の部分に何枚も重ねて貼る子、傘の中に入って内側からシールを貼ってみる子と、それぞれがこだわりを持って取り組んでいました。

また、お友達に「手伝って」と言ってシールを剥がすことを手伝ってもらったり、お友達が貼っている様子を見て真似して同じように貼って見ようとしたりと、子ども達の関わりもたくさん見られ、とても素敵なオリジナルの傘が出来上がりました。



3さい にじくみ

いすみ 高橋

3期 (7月1日~8月31日)

【テーマ】	七夕・夏を感じよう	
【絵画・製作】	笹飾り作り ボディペインティング・色水遊び はさみの2回切り	
【うた】	♪たなばたさま	♪きらきらぼし
	♪すいかの名産地	♪アイスクリーム
	♪とんでったバナナ	♪おばけなんてないさ
【ふれあい遊び】	ボールやマットを使っのふれあい	
【楽器】	カスタネットでリズム打ち	
【クッキング】	夏野菜でピザ作り	
【夏の活動】	プール・寒天遊び	

スタンプ遊び

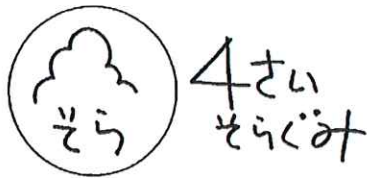
トイレットペーパー芯を丸、三角、四角、ハート、雫の形にしたものを、絵の具につけてスタンプにして遊びました。2人で1セットのペーパー芯と三色の絵の具でしたが、取り合いにならないように順番に使う姿や、譲り合って使う姿がありました。スタンプをしていくうちに、絵の具が混ざっていく様子を見て「オレンジ色になった」や「見て、綺麗な色になった」などと、隣の友達と見せ合っていました。

おにぎりクッキング

鮭と昆布のどちらをおにぎりに入れるか、グループで話し合って決めました。最初は、自分の意見をずっと言っていたり、保育者に自分が好きな具を言いにくたりしていましたが、「みんなで1つの具を決めるよ」と繰り返し伝えていくと、違う意見の友達に「〇〇ちゃん、鮭でもいい？」と自分の思いを伝えたり、友達の意見を受け入れたり、話し合って決めるグループもありました。また、満場一致で鮭に決まったグループもあり、様々な子ども達の姿を見ることができました。

当日は、作り方を真剣に聞き、具を入れたり、ご飯を混ぜたりすることをグループで順番に回して作りました。初めてのクッキングをとてワクワク楽しみにしていた子ども達。自分で作ったおにぎりを「美味しい」と言いながら嬉しそうに食べていました。





たけなが
竹中



3期 (7月1日~8月31日)

- 【テーマ】 夏・水・ひまわり
- 【絵画・製作】 色水・氷あそび (絵画)・ひまわり製作
- 【うた】 ♪たなばたさま ♪すいかの名産地 ♪にじのむこうに
♪アイスクリームのうた ♪いるかはザンブラコ
♪おばけなんてないさ
- 【農育】 夏野菜とさつまいもの水やり・草抜き・追肥
夏野菜の収穫
- 【クッキング】 夏野菜のクッキング
- 【夏の活動】 プール・ボディペインティング
- 【触れ合い遊び】 ゲーム遊び



バブルアートにちょうせん!

しゃぼん玉と絵の具を使ったバブルアートであじさいの製作をしました。保育者が見本を見せると「やりたい!」という声が聞こえてきました。三原色の絵の具を混ぜて、「チョコジュースみたい!」「赤と青を混ぜたら紫になったよ」などと



それぞれが工夫しながら、色作りを楽しんでいたり、あじさいの写真と自分の作った色を見比べたりする姿も見られました。コップの中でしゃぼん玉を泡立てて、溢れる泡に「見てみて!」と大興奮の子ども達でした。色鮮やかなあじさいが咲いていました。

どろんこあそびたのしかったよ

幼児クラスで泥あそびをしました。にじ組の頃に泥あそびの様子に圧倒されて泣いてしまっていた子も、前日から「明日の泥あそび楽しみー!」とワクワクしている様子が見られました。当日は、みんなで「泥あそびにレッツゴー!」園庭で泥を作るために水がまかれると、自ら水にかかりに行ったり、タライを使って水を避けることを楽しんだり子ども達の笑顔がとても印象的でした。園庭が泥だらけになると、水溜まりを見つけて「カエルに変身」とジャンプしたり、泥を保育者に付けることを楽しんだり、友達同士で付け合ったりと全身で泥の感触を味わうことができていました。最後は泥水をそら組のみんなで協力してタライに集める姿も見られました。





5さい
かもめぐみ

中巻



3期（7月1日～8月31日）

- 【テーマ】 夏～夏ならではの遊び・お泊まり保育を楽しもう～
- 【絵画・製作】 すいかの絵画 ボディペインティング 色水遊び
お泊り保育に向けてTシャツ作り・旗作り
- 【うた】 ♪にじのむこうに ♪アイスクリームのうた ♪うみ
♪すいかの名産地 ♪おひさまになりたい
- 【ピアノカ】 指番号を覚える～かえるのうたを弾いてみよう～
- 【楽器遊び】 4種類のリズム打ち
- 【ふれあい遊び】 人数集めゲーム 2～3人組でルールのある遊び
- 【食育】 すいかの食育 カレークッキング ミックスジュース作り
- 【農育】 夏野菜の水やり・収穫 びわ茶作り



絵画～いちごを描こう～

いちごの絵画をしました。子ども達に目を瞑ってもらい、ボウルの中にかくさんのいちごを入れて匂いを嗅ぎ、何の絵画をするのか当ててもらいました。すぐに「いちご！」と当てた子ども達。1人1つずついちごを配り、触ったり匂ったりしてしばらく観察した後、保育者がいちごを手でぎゅーっと絞って飲んで見せると次々に同じようにいちごを絞り味わっていました。もう1ついちごを渡し、実際に見ながら3原色の絵の具を使っていちごを描きました。「どうやって緑作るの?」「青と黄色混ぜたらできたよ」と友達と話しながら色作りをしていたり、「これいちご狩りに行っているところ!」とイメージを膨らませたりしながら描いている子もいました。また、いろいろな色や大きさのいちごを描いており様々な姿が見られました。それぞれのイメージする、素敵ないちごの絵が出来上がっていました。

かもめ組が3月から育てていたいちごも5月に入り、次々に赤なっていました。毎日収穫をしながら「いい匂いする」「早く食べたいな」と食べる日を楽しみにしていたかもめ組。絵画をした後にいちごジュースを作ってみんなで美味しく頂きました。



フリのせいせい



ふくおか
福岡

梅雨が明け気温も上がり、子ども達が大好きな生き物たちも活発に動いている姿を見せてくれるようになりました。

先日、昨年度から成長を楽しみに待っていたカブトムシの幼虫が、成虫になりました。「ゼリー食べてる!」「なんで木に登るのかな?」ゼリーを食べ終えたカブトムシが土に潜ると、「なんで土の中に入るん?」と、たくさんの発見や疑問が子ども達から飛び出しました。それを聞いて「ゼリー美味しいのかな?」「木登りしたいんちゃう?」「眠たいんかも!」と、クラスの垣根を超えて会話が広がっている姿が見られました。

なぎさ組では、飼育していたカブトムシの幼虫が、残念ながら蛹の段階で力尽きてしまい、成虫になる様子を見る事ができませんでした。そのことをなぎさ組の子ども達に話すと、「いなくなっちゃたの?」「かわいそう」と悲しんでいる姿が見られました。

これからも生き物を飼育していくなかで、子ども達の心が動く五感を使った経験を大切にしていきたいと思います。



また、幼児のうみの部屋には、様々な生き物を飼育している『生き物コーナー』があります。雨で園庭に出ることができない日にも、部屋の中で自然と触れ合うことができるスペースには、たくさん子ども達が生き物たちの様子を見に来てくれます。幼児だけではなく乳児クラスの子も、生き物コーナーにくると、真剣に観察しています。

金魚、メダカ、ダンゴムシ、ワラジムシ、カブトムシ、オタマジャクシなど、それぞれの生き物の生活を覗き込むことで、新しい発見や疑問が生まれると思います。ぜひ子どもと同じ目線になって、小さな生き物たちの生活を観察してみてください。



台所の先生から

こんどう いわぶち
近藤 岩渕

梅雨が明け日差しも強く気温も高くなり、夏バテが心配な季節です。暑さに負けないよう水分とバランスの良い食事を摂り、対策をしましょう。また、季節の野菜を取り入れながら、日頃給食で提供している献立のレシピを定期的に給食ディスプレイの近くに掲載しています。また、綴ったものをお知らせボードにかけてどなたでも見られるようにしましたので、是非ご覧下さい。希望のメニューがあれば調理室にお気軽にお伝え下さい。

《夏バテに効果的な栄養素》

◆タンパク質：牛肉・豚肉・鶏肉・卵・大豆製品など

筋肉の疲労を回復させる効果や、体力の温存効果、そして身体の持久力を向上させる効果があります。

◆ビタミンB1：豚肉・うなぎ・大豆等豆類・玄米など

「疲労回復のビタミン」と呼ばれ、糖質をエネルギーに変えるとともに、体内の老廃物の代謝を行ない、疲労回復させてくれる働きがあります。

◆ビタミンB2：レバー・納豆・チーズ・うなぎ

主に脂質をエネルギーに変える働きがあり、適切に摂取することで栄養の吸収率がアップして、暑さに耐えられるエネルギーをつくります。「発育のビタミン」とも呼ばれ、皮膚や粘膜、髪、爪などの細胞の再生に関わります。

◆ミネラル（カリウム・カルシウム・ナトリウムなど）：夏野菜・乳製品・海藻類など

暑い夏にはベタベタな汗をかき、一緒にミネラルが体内から流れ出てしまい、水分バランスが崩れてしまいます。水分とミネラルをこまめに補給して下さい。

◆クエン酸：柑橘類・梅干し・しそなど

疲労感を軽減し、新陳代謝を活発にする効果があります。また体内のエネルギー効率をよくする効果もあり、夏バテによる疲労感によく効きます。

〈はっつとこども園では陶器の食器を用いて温かい給食提供を心掛けています〉

陶器の食器は重みがあり温かみを感じることができます。子ども達が食器を割ってしまうこともあります。割れて壊れてしまうという体験を通じて、物の大切さを学んでほしいという思いがあります。また、乳児クラスは自分ですくって意欲的に食べられるように陶器の介助用食器を使っています。スプーンやフォークを自分で持ち、自分で食べるという経験を大切にしています。



ほけんだより



看護師 榎木 ならき

いよいよ夏到来です。子ども達が園庭で遊ぶとき、熱さ指数を（熱中症が起きやすい環境を知るための指標）目安にしています。

「厳重警戒」：28度～31度では戸外で遊ぶことを控えています

「警戒」：25度～28度ではこまめに水分補給をしながら、園庭で遊んでいます。

熱中症にかからない為に、日頃からしっかり食事をとり、十分な睡眠で、厳しい夏を乗り越えていきましょう。

熱中症は初期の応急処置が大事です。

	症状	対処
I度 (軽症)	めまい 立ちくらみ 筋肉痛（こむら返り、足がつる） 手足のしびれ 気分不快	涼しい場所に移動し、体温を下げる。 太い血管（首、わき、足の付け根）を冷やす。
II度 (中等度)	頭痛、吐き気、嘔吐、疲れ、だるさ *体温は正常～40℃未満 *意識障害なし *夏に流行する胃腸炎などの感染症と紛らわしいことがある。	意識がはっきりしていれば塩分が入った水か、経口補水液（OS1）がおすすめ 乳児：30ml/Kg 幼児：30～50ml/日 学童、成人：300ml～600ml/日 *自家製補水液を作る場合は（1Lの水に砂糖20g～40g、食塩3g） *熱中症の高体温は解熱剤では下がらないが、頭痛に対しては効果はある。
III度 (重症)	呼びかけに反応がない けいれん まっすぐ走れない 異常な高体温 異常な発汗、もしくは汗が出ない	意識がないときや、返事がおかしい時は すぐに救急車（119）を呼び

- 熱中症は、熱さに慣れていない時期が危険です。室内、室外で適度な運動で少しずつ暑さに体を慣れさせましょう。（梅雨明けの蒸し暑い日に熱中症が起こりやすいです）
- のどの渇きを感じなくても、こまめに水分をとることが大事です。
- 体調が悪いときは無理をせず、涼しい場所で過ごしましょう。

ウェルネス体育遊び

体育講師 難波 泰人

3歳児クラスも体育遊びに慣れてきて、30分間サーキット運動に向き合いながら楽しく取り組めてきています。4歳児5歳児では、動きのなかで力の発揮、力のコントロールやリズムよさ、連続性など動きを通して身につけてきています。

第3期（7月、8月）でも引き続き、サーキット運動で身体の使い方、身体のコントロールを身につけていきます。

【取り組みとねらい】

サーキット運動

○3歳児クラス

U型サーキット

- ・サーキット運動に興味・関心を持ちながら、ルールを理解し基本動作を身につけていく。
- ・1期・2期で取り組んできた基本動作（渡る・登る・ぶらさがる・走る・跳ぶなど）をたくさん経験しながら、動きの安定を図る。

○4歳児クラス

U型サーキット

- ・基本動作では動きの確かさ（素早さ、力強さ、リズム良さ、バランスの良さ、連続性）を図る。
- ・複合動作①をたくさん経験（～しながら～する。という2つの動作を同時に行なう）していく。

○5歳児クラス

U型サーキット

- ・複合動作①を（～しながら～する。という2つの動作を同時に行なう）安定して行なう。
- ・複合動作②の経験（～から～して～する。という3つの動作を同時に行なう）
- ・技能課題に取り組む中で、自尊感情を確かなものにする。

ポイント指導

○3歳児クラス

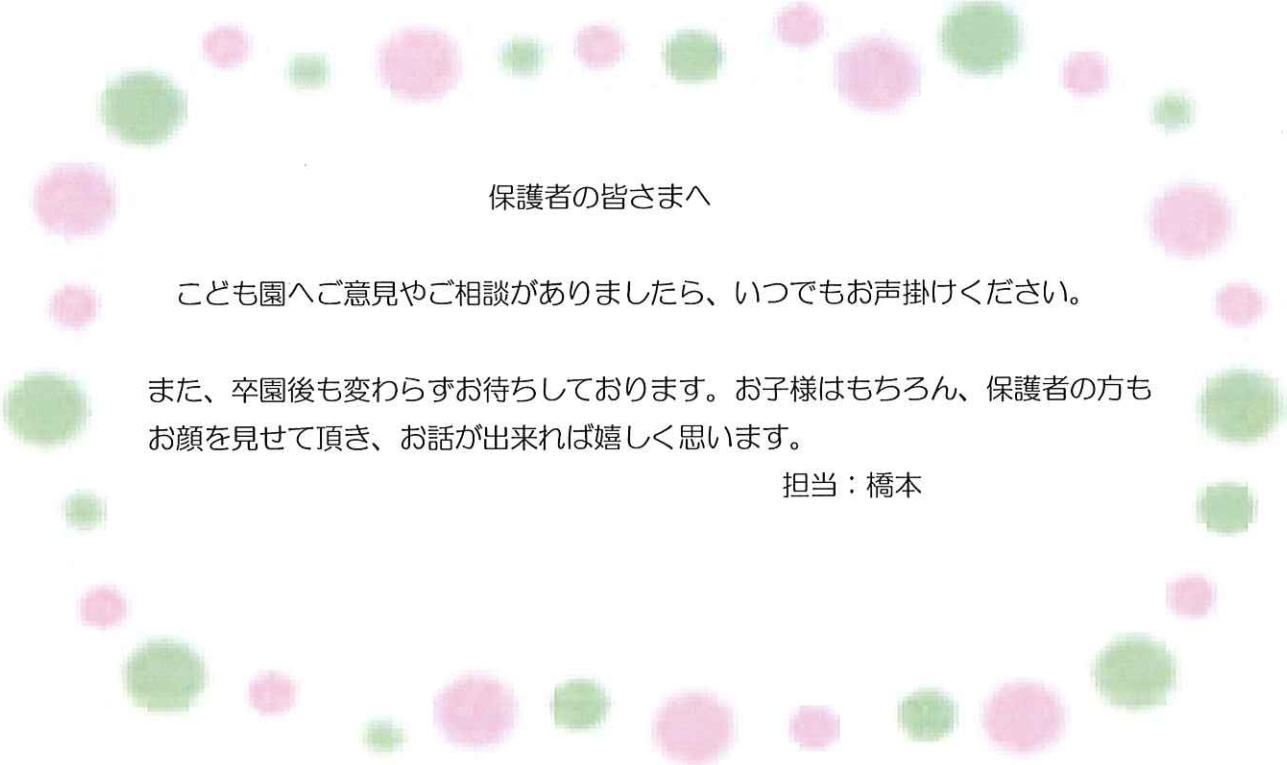
- ・マット「前回り」⇒前に回る感覚を身につけながら、支持をして回る。
- ・鉄棒「足抜き回り」⇒ぶらさがりから、手を離さず足を入れて回る。

○4歳児クラス

- ・マット「前転」⇒身体を丸め、まっすぐ回りながら回転力で起き上がる。
- ・跳び箱「開脚とび」⇒助走から両足踏み切りで踏み切り板を強く蹴る。
- ・鉄棒「つばめ～前回り降り」⇒腕支持の姿勢から、身体を丸くしながらゆっくり回り、跳びつきから腕支持までを行ない、手首を回して回る。

○5歳児クラス

- ・マット「坂付き後転」「後転」⇒回った後は、足の裏で立つところまで行なう。
- ・跳び箱「開脚とび」⇒両足踏み切りから、足を開き体重移動を行ない跳び越す。
- ・鉄棒「坂付き逆上がり」⇒腕のひきつけと蹴り上げのタイミングをつかむ。
「逆上がり」⇒けり足と、振り上げのタイミングを合わせて回る。



保護者の皆さまへ

こども園へご意見やご相談がありましたら、いつでもお声掛けください。

また、卒園後も変わらずお待ちしております。お子様はもちろん、保護者の方も
お顔を見せて頂き、お話が出来れば嬉しく思います。

担当：橋本